

東北工業大学 シンポジウム

宮城県仙台平野の津波調査

2011年7月22日

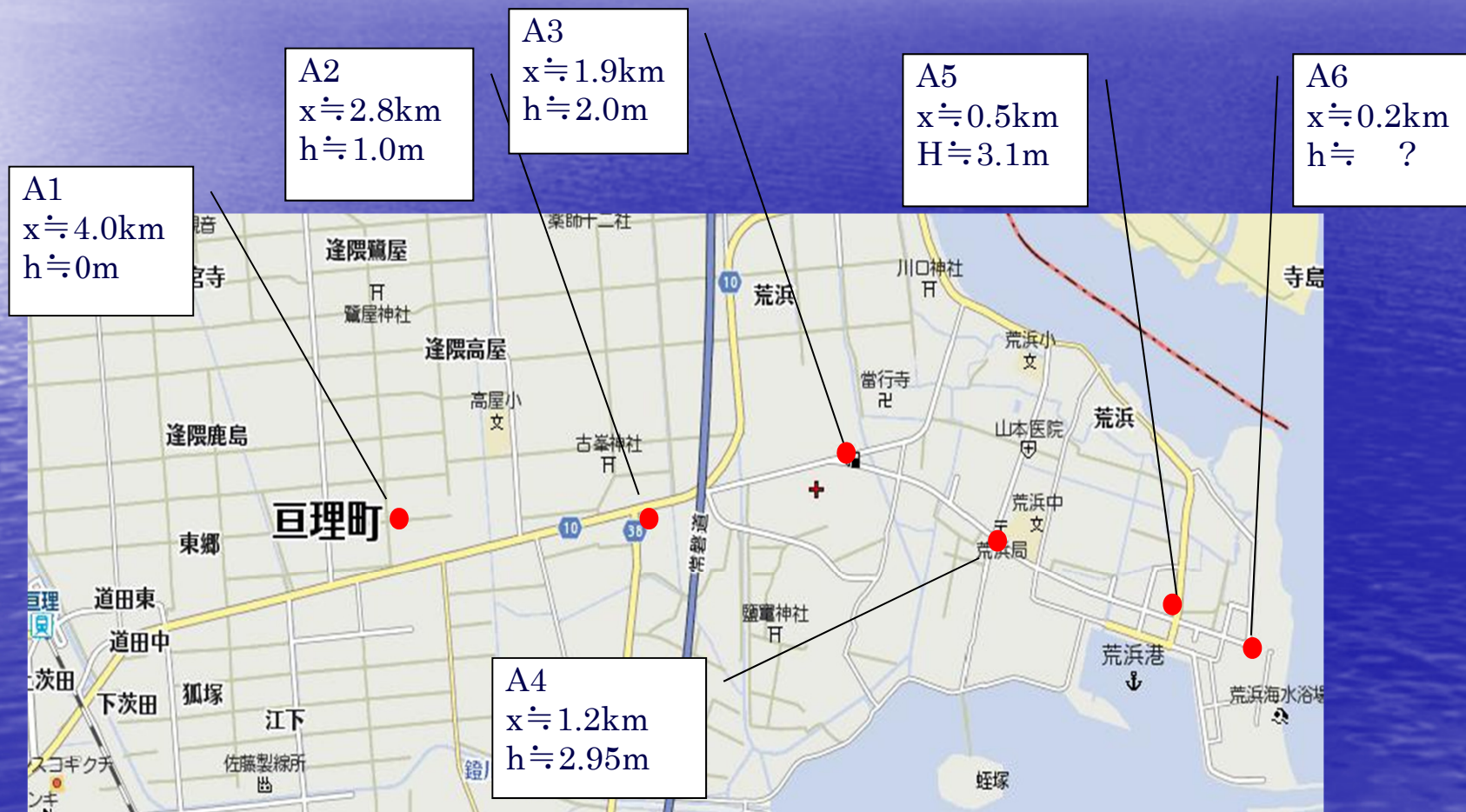
東北工業大学 工学部
都市マネジメント学科
高橋敏彦・新井信一
相原昭洋・澁谷陽

海岸線からの直線距離と浸水深の大きさによる家屋被害の違いを主に現地調査によって確認する。

- ・ ラインA: 亘理駅～荒浜港
(阿武隈川右岸側、被害甚大)
- ・ ラインB: 東部道路～閑上
(名取川右岸側、被害甚大)
- ・ ラインC: 東部道路～荒浜漁協
(荒浜、被害甚大)
- ・ ラインD: 県道10号～コンテナヤード
(仙台新港、被害甚大)

ラインA 亘理駅～荒浜港

X: 海岸線からの距離 h: 浸水深(津波痕跡高)



A1地点($X \div 4.0\text{km}$, $h \div 0\text{m}$)



最大遡上点 $X \div 4.0\text{km}$



津波によってうち上げられた魚

A2地点($X \div 2.8\text{km}$, $h \div 1.0\text{m}$)



東部道路より約200m内陸



床上浸水(半壊)

A4地点($X \div 1.2\text{km}$, $h \div 2.95\text{m}$)



A4地点より荒浜中学校を望む



多くの家屋が流失

A5地点($X \div 0.5\text{km}$, $h \div 3.1\text{m}$)



多くの家屋が流失



漁協組合事務所

A6地点($X \doteq 0.2\text{km}$, $h \doteq ? \text{m}$)



防波堤の波返し工
($X \doteq 0.2\text{km}$)



洗堀による松の木の
根露出($X \doteq 0\text{km}$)

ラインB 東部道路～関上

X: 海岸線からの距離 h: 浸水深(津波痕跡高)



B1地点($X \div 2.5\text{km}$, $h \div 0.52\text{ m}$)



コンビニガラス一部損傷



コンビニ脇田圃ー1.2m車多数

B2地点($X \div 1.3\text{km}$, $h \div 1.8\text{ m}$)



コンビニ店内車4台有



関上漁港方向を望む
左側関上大橋

B4地点($X \doteq 0\text{km}$, $h \doteq 7.0\text{ m}$)



関上漁港前 付近で唯一残っている建物



周辺家屋ほぼ流失